

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		企画業務費 [組織、職員定数及び組織定員に関する事務]						
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 7	企画費	事業番号 1	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	企画政策（企画課）		課 企画政策担当（企画担当）		係	課長名	荒井 亮二	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	行 - 2		
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現					総合計画書（ページ）	122		
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 庁内すべての組織、職員定数及び組織定員			① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） ①部の数（議会事務局を含む） ②課の数（議会事務局、会計管理者の補助組織、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局を含む） ③係の数 ④担当課長・副参事及び担当係長の数				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 翌年度4月1日付けの職員定員が、第6次行政改革大綱推進計画における最大定員以内に収まっている。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 組織定員：人				
	③ そのために何をしましたか。 ① 地方公共団体定員管理調査対応（調査元：総務省） ② 給与・定員・勤務条件等検収 ③ （庁内）翌年度の組織・定員等に関する調査 ④ （庁内）翌年度の組織定員等に関するヒアリング ⑤ 組織・定員の見直し ⑥ 組織の改正等に伴う組織条例及び組織規則改正 ⑦ 人事異動に伴う組織人事一覧作成・配信			③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） ① 提出回数：回 ② 対応回数：回 ③ 実施回数：回 ④ 実施回数：回 ⑤ 実施回数：回 ⑥ 実施回数：回 ⑦ 実施回数：回				
2 指標の推移	対象指標		①の数値	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	
	成果指標		②の数値	人	473	471	469	
	目 標		②の目標値	人	473	472	469	
		目標値設定の考え方 第6次行政改革大綱推進計画における最大定員以内を目標とする。						
活動指標		③の数値	回	①1回、②1回、③1回、④1回、⑤1回、⑥1回、⑦1回	①1回、②1回、③1回、④1回、⑤1回、⑥1回、⑦1回	①1回、②1回、③1回、④1回、⑤1回、⑥1回、⑦1回		
3 経費	事業費（実績）		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値（退職手当組合負担金、共済費も含む。）	
	財源	一般財源	円	0	0	0		
		特定財源（国・都・他）	円	0	0	0		
		（うち受益者負担）	円	0	0	0		
	人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	人	0.5	0.5	0.5		
		所要人数（再任用）	人	0.0	0.0	0.0		
		職員人件費（再任用以外）	円	4,155,000	4,190,000	4,125,000		
職員人件費（再任用）	円	0	0	0				
事業費＋人件費		円	4,155,000	4,190,000	4,125,000			
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成25 年度					
	(2) 環境の変化 子ども・子育て支援、公共施設等マネジメント、社会保障関連事業等、市が担う事業が増大している。							

事業名称	企画業務費 [組織、職員定数及び組織定員に関する事務]			
担当部署・課長名	企画政策（企画課）	課 企画政策担当（企画担当）	係	課長名 荒井 亮二

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 常に、組織・定員の適正化が求められている。			
	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
6 市民協働	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：		
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：                      ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（                      ）		
(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 今後も、定員管理にかかる国の方針等の状況を注視しながら、行政改革大綱に設定している定員管理の目標値を基準として適正な定員配置を行う必要がある。また、令和2年度に実施した業務分析の結果等を踏まえ、令和4年度以降の業務改善、組織の最適化に向けて庁内検討を進め、業務改革を実行していく必要がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 少子高齢化や人口減少の進展に伴い、行政需要が高度化・多様化・複雑化し、市の業務量が増加を続ける中、今後も、引き続き、厳しい財政状況が見込まれており、将来を見据えた持続可能な市政運営のための不断の行政改革が必要であることから、①新総合計画の推進体制の整備（第五次基本計画の重要施策等を推進する体制の整備）、②組織全体の最適化（令和2年度に実施した業務分析の結果等を参考に、行財政運営のスリム化、効率化の視点を持って、組織全体を最適化を図った。）の2つの目的から大きな組織改正を行った。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 令和4年4月1日付けで行った大きな組織改正による効果や課題を確認しながら、今後も見直しを図っていく必要がある。また、定員管理にかかる国の方針等の状況を注視しながら、行政改革大綱に設定している定員管理の目標値を基準として適正な定員配置を行う必要がある。			
8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）				
施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある    事業名（                      ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 ①組織・定員に関する課題の実態把握を行い、必要に応じて組織等を見直すとともに、第6次行政改革大綱に設定している定員管理の目標値を基準として適正な定員配置を行う。 ②現業職員については、原則として退職者不補充により、職員数（組織定員）の見直しを行う。 ③民間委託・指定管理者制度の推進により、職員数（組織定員）の見直しを行う。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 庁内の合意形成が必要となる。			